

平成29年度 山形歯科専門学校 学校評価書

※ 評価得点欄の値は、校内評価委員会及び同事務局全構成員の評価得点を平均したものである。
 なお、各自の評価得点は次の基準による。

<適切－4点、ほぼ適切－3点、やや不適切－2点、不適切－1点>

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員の 指導及び助言	次年度の改善点
		評価 得点	成果と課題（「学校自己評価報告書」の略記）		
(1) 教育 理念 ・ 目 標	① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。	4.0	[主な取組 並びに 成果] 1 「シラバス」全体計画の改正(29.4) 2 「学則」「教育課程」改正・認可(29.12) 3 教育課程検討委員会並びに教育課程編成委員会における本校教育の理念や重点目標、具体的方策等の検討(28.10~) [今後の課題] ① 学校の理念や重点目標等について、学生・保護者等への周知徹底、その手立てとしての学校要覧の利活用 ② 新しい「学則」「教育課程」の適正な実施の検討 ③ 医療専門職としての意識の涵養 ④ 進行する超高齢社会等、社会の要請への対応	○ 超高齢社会の進行など社会が大きく変容する中で、歯科衛生士に対する社会的な要請も変化している。そういう中で、医療専門職としての自覚を持った歯科衛生士に育ってほしいと願う。	1 教育課程編成委員会、並びに教育運営委員会における検討を重ね、新しい「学則」「教育課程」を適正に実施していく。 2 様々な会議、刊行物等で本校の理念や目標等を広報し、理解の浸透を図る。 3 学校要覧をさらに整備し、適宜配布し広報を図る。 4 教職員の各種研修機会を捉えて、全国の潮流について理解を深め、日々の指導に生かしていく。
	② 学校における職業教育の特色は何か。	4.0			
	③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	3.7			
	④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	3.4			
	⑤ 学科の教育目標、育成人材像は、学科に対応する業界にニーズに向けて方向づけられているか。	3.5			
(2) 学 校 運 営	① 目標等に沿った運営方針が策定されているか。	3.8	[主な取組 並びに 成果] 1 教育課程検討委員会(28.10~) 教育課程編成委員会(30.1~)による検討、「教育課程編成委員会規則」制定(29.12) 2 「学校評価実施規程」「学校関係者評価における守秘義務に関する規定」制定(30.1)	○ 各種の委員会を設立して検討していることはよい。 ○ 施設やスタッフ、カリキュラムが充実してきており、学校の教育力は少しずつ向上していると思う。	1 教育運営委員会を基軸として、外部有識者を招聘した学校関係者評価・教育課程編成・学校図書室運営検討の3委員会における検討を充分に取り入れながら学校運営を進める。
	② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3.9			

	③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	3. 8	3 学校図書室整備委員会(29.6~)における環境整備や蔵書収集等の検討		2 上記の各委員会は、それぞれ制定した規程等にそって適正に運営する。	
	④ 人事、給与に関する規程等は整備されているか。	3. 5	4 組織的で、統一感のある学校運営の実施		3 教務研修は重要な柱であり、校内の初任者研修も含めて実効あるものとする。	
	⑤ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3. 5	[今後の課題] ① 「教育運営委員会規則」改正の準備		4 学校情報公開の内容は年度前半期に確定する。	
	⑥ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3. 6	② 「教務研修規定」策定の準備		5 時間割や週・月毎の日程について、校内の共通理解を図りながら、見直しを持って計画、実施する。	
	⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	3. 3	③ 学校情報公開の準備			
	⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3. 3	④ 授業時間割作成のシステム化			
(3) 教育活動	① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	3. 8	[主な取組 並びに 成果]	○ 東北文教大学短期大学部との教育交流事業は、相互の対話等から新たな学びや気づき生まれ、学習意欲の喚起等教育効果がある。歯科衛生士は幅広い年代層との対話能力が求められるが、様々な場面での学習を重ねることで、実効をあげてほしい。 ○ 戴帽式等の儀式では、本人の意識向上がはかられ、下級生への励みにもなっており、大変良い。 ○ 各種実習や勉強時間も多く、学校行事が続くこともあり、学生がかなり忙しい時期があるようだ。調整が必要かと感じる。 ○ 3年時の地元での臨床実習に関して、交通の便を考えた配置が必要と思われる。	1 授業評価について、参考事例をもとにしながら、制度設計をする。	
	② 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3. 6	1 「学則」「教育課程」改正・認可(29.12)			2 教育課程の適正な実施に向けて場面に応じて丁寧な検討を加える。
	③ カリキュラムは体系的に編成されているか。	3. 7	2 東北文教大学短期大学部との教育交流事業の実施(29.7) 同 大学との連携協定の締結(29.12)			3 東北文教大学短期大学部との教育交流事業の目的に従い、より効果的な方法を模索する。
	④ キャリア教育や実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫や開発などが実施されているか。	3. 5	3 3年「テーマ研究」発表会の開催(29.12) 兼 東北地区歯科衛生士教育協議会第2回公開授業並びに 同 歯科衛生士養成校教職員研修会の実施			4 近接専修学校との連携協定締結を早期に行い、交流事業の充実を図る。
	⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成や見直し等が行われているか。	3. 9	4 臨地・臨床実習の充実 5 個に応じた指導の充実			
			[今後の課題] ① 新教育課程の適正な実施に向けた検討 ② 他職種の近隣専修学校との連携協定締結			

	⑥ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	3. 6	③ 授業評価の体制整備 ④ 教務研修のシステム化と校内研修の充実 ⑤ 「教務研修規定」策定 ⑥ 教務数不足の解消		5 学生の状況を考慮に入れながら、学習効果が上がるように、行事等を含めて適切に日程設定を行う。 6 臨床実習の円滑な実施に向けて、協力施設と充分連携する。 7 教務研修は重要課題であり、実効の上がる方策を講ずる。 8 教務数不足を解消する。
	⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか。	2. 8			
	⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	3. 8			
	⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	3. 8			
	⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3. 9			
	⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3. 3			
	⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか。	3. 3			
	⑬ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	3. 6			
	⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3. 7			
(4) 学修成果	① 就職率の向上が図られているか。	4. 0	[主な取組 並びに 成果] 1 就職率100%の継続（昨年度末） 2 就職活動に係る個別面談指導の充実 3 3年学力分析会（4回）等による詳細な状況分析	○ 地域歯科医療を担う職業であり、地元の活性化に繋がるよう、県内就職を推奨していただきたい。 ○ 地元志向の強い高校生が入学しており、適切に指導を願う。	1 国家試験の全員合格を達成する。個に応じた指導を心がける。 2 就職率100%を維持継続する。
	② 資格取得率の向上が図られているか。	3. 3			

	③ 退学率の低減が図られているか。	3. 2	4 リフレッシュ研修会開催(29.8) 5 同窓会の活性化並びに会員名簿作成(29.9)の支援	○ 国家試験対策について、3年生がかなり忙しいように見える。何らかの対応が必要ではないか。 ○ 歯科衛生士不足の状況は甚だしく復職支援に向けた体制も考えていく必要があると思われる。 ○ 歯科衛生士の社会的地位や認知度の向上が図られればと感じる。	3 無料職業紹介事業の考え方を基本としつつ、本校の特性を踏まえて県内での就業を推奨する。 4 目的意識を維持し学習意欲を高める工夫をして、不適応学生を出さない。 5 卒業生の事後指導を行い、勤務状況を把握しながら、離職や転職を防止する。 6 本校同窓会や山形県歯科衛生士会との連携を強化し、歯科衛生士職の特性を広報し、認知度をさらに向上させる。
	④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	3. 2	[今後の課題]		
	⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用しているか。	3. 4	① 国家資格取得100%の達成 ② 中退者が発生しない指導のあり方の検討 ③ 卒業生の勤務状況に係る評価 ④ 転職・復職への支援 ⑤ 本校同窓会や山形県歯科衛生士会との連携強化		
(5) 学生支援	① 進路や就職に関する支援体制は整備されているか。	3. 7	[主な取組 並びに 成果]	○ 修学支援制度は、保護者の負担軽減につながり、また生徒の励みにもなる意義のある事業であり、継続的に実施してほしい。 ○ 県外就職が増加傾向にあるようだが、地元定着に努力してほしい。	1 修学支援事業の確実な実施に努める。 2 社会人入学を奨励する広報を強化する。 3 「専門実践教育訓練給付」制度について、周知徹底を図る。 4 学校や学年の集団指導とともに、個別面談を通して個に応じた指導を推進する。 5 学生の出身高等学校との連携を深め、本校教育の特色や良さを打ち出していく。 6 無料職業紹介事業所としての役割を遂行する。
	② 学生相談に関する体制は整備されているか。	3. 6	1 修学支援制度の構築(29.11) 「特待生」と「奨学生」 平成30年度開始 2 個別面談指導の充実 3 学校カウンセラーによる面談 4 無料職業紹介事業の円滑な展開 5 今年度より厚生労働大臣「専門実践教育訓練給付」講座指定校(対象学生1名) 6 出身高校(母校)訪問の充実		
	③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3. 7	[今後の課題]		
	④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	3. 5	① 修学支援制度の適正な運用 ② 「専門実践教育訓練給付」等、社会人入学者を増やす取り組み		
	⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	3. 2			
	⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか。	3. 5			
	⑦ 保護者と適切に連携しているか。	3. 5			

	⑧ 卒業生への支援体制はあるか。	3. 8			
	⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3. 8			
	⑩ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	3. 5			
(6) 教育環境	① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3. 4	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校図書室の整備 2 実習室・収納庫の環境整備 3 防災講話の実施(29.9) <p>[今後の課題]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 緊急連絡システムの構築 ② 実習デモ用教材や機材の整備 ③ 保健室の整備 	<p>○ 風水害や雪害等による緊急時連絡体制は大切であり、対応を急ぐ必要がある。</p> <p>○ 緊急連絡システムは業者に依頼するのとよいのではないか。</p> <p>○ 図書室はグループ学習が可能な配置がよい。ディスカッションを重視する教育を進めることが大切だ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 年度前半には、緊急連絡システムを構築する。 2 当面の図書室整備を適切に実施するとともに、今後の運営について当該委員会で十分検討していく。 3 実習デモ教材や諸機材の整備を行う。 4 保健室の設備や備品について精選し、より機能的な活用ができるよう改善していく。
	② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	3. 2			
	③ 防災に対する体制は整備されているか。	3. 8			
(7) 学生の受入れ募集	① 学生募集活動は適正に行われているか。	3. 5	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 入試方法の改善(29.3) 2 学校ホームページ(スマホ対応)の改良(30.1) 3 山形駅通路広告塔の活用(29.11~) 4 修学支援制度の広報(29.12~) <p>[今後の課題]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 定員確保に向けた諸活動の実施 	<p>○ テレビCMやバスの車内広告等様々な手段を用いる必要がある。</p> <p>○ 学校の特色を生かしたボランティアや地域貢献活動等により、歯科衛生士の職業としての認知度をあげていく。</p> <p>○ 学校HPでの広報や新聞・テレビ等の活用し、学校の特色を外部発信する方策を幅広く考えるべきだ。</p> <p>○ 歯科衛生士の給料がもう少し上がれば、高校生や保護者の関心も高まるのではないか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校HP(スマホ対応)を利活用し、本校の特色を広報し、認知度をもっと上げていく。 2 高等学校訪問をさらにシステム化し、可能な限り担当教職員、高校生本人や保護者への浸透を図る。 3 マスメディアを活用し、特色を発信していく。 4 地域と密着した活動を行い職業の認知度を上げていく。
	② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3. 7			
	③ 学納金は妥当なものとなっているか。	3. 8			

(8) 財務	① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	3. 6	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>1 本会業務監査(29.11)への対応</p> <p>2 良好な財務状況の継続</p> <p>[今後の課題]</p> <p>① 修学支援事業の会計処理</p> <p>② 情報公開の準備</p> <p>③ 入学定員数の確保</p>		<p>1 修学支援事業の会計処理を適切に行う。</p> <p>2 年度前半には、情報公開用財務資料を準備する。</p>
	② 予算・収支計画は有効且つ妥当なものとなっているか。	3. 7			
	③ 財務について会計監査が適正に行われているか。	3. 8			
	④ 財務情報の公開の体制整備はできているか。	3. 1			
(9) 法令等の遵守	① 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	3. 9	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>1 「職業実践専門課程」認可申請の準備開始</p> <p>2 学校評価事業2年目、平成28年度結果報告(29.4) 監督庁・県歯科医師会へ</p> <p>3 「個人情報保護方針」の学校HP掲載</p> <p>[今後の課題]</p> <p>① 全体結果の早期公開</p> <p>② 情報公開内容の精選</p>	<p>○ 新しい評価項目となり、それと対比した自己評価の成果と課題という記載になっていない面があり、もっと少し工夫が必要である。</p> <p>○ 詳細な各種調査に基づいた分析だが、もう少し精選する必要もある。</p> <p>○ 2年目で、少しずつわかりやすい内容となってきたと思うが、将来的に見れば、第三者評価を検討してみることが必要ではないか。</p> <p>○ 学校評価は大きな労力が必要だが、教育の質向上には大切である。</p>	<p>1 今年度中の「職業実践専門課程」認可申請に向け、準備を進める。</p> <p>2 学校評価事業の第2期(3年目)が開始されるが、よりよい評価活動ができるよう、工夫改善を積み重ねていく。また、今年度の評価事業報告の公開時期を5月末をめどとする。</p> <p>3 年度前半には、学校HP上に掲載できるように、学校情報公開の準備を進める。</p>
	② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	3. 6			
	③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	3. 9			
	④ 自己評価結果を公開しているか。	3. 8			
(10) 社会貢献・地域貢献	① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	3. 5	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>1 周辺地域清掃ボランティアの実施(年間2回)</p> <p>2 各種ボランティアの推奨</p> <p>[今後の課題]</p> <p>① 「テーマ研究」発表会の公開授業として実施</p> <p>② 学校祭における地域住民との交流イベント等の工夫</p>	<p>○ 特色を生かして、地域と交流するような場があれば良い。</p>	<p>1 3年生「テーマ研究」発表会の公開授業をさらに発展させ、歯科医師会、歯科衛生士会、同窓会、各県養成校教職員、保護者や地域住民、連携校等々関係する諸団体・個人に案内をする。</p> <p>2 学校祭の種目を工夫し、地域の各年代層に応じた諸活動を行うことで、歯科衛生について広報する。</p>
	② 学生のボランティア活動を奨励や支援をしているか。	3. 5			
	③ 地域に対する公開講座や教育訓練(公共職業訓練等含)の受託等を積極的に実施しているか。	3. 1			